

## 「恐竜学博物館へ行こう」

8月9日(火)

参加者 児童 28名  
ボランティア 9名  
保護者ボランティア 2名

今回、皆がとも楽しみにしていた「恐竜学博物館へ行こう」の日がいにきました。ボランティアは下見をし、何度も計画を練り直し、この日を迎えました。

アイランドで初めての試みとなる公共機関(バス)を利用しての活動でした。低学年は市バスと自家用車、高学年を宇野バスの利用としました。バスの乗り降りや大勢での利用と、心配事がいくつもありませんでしたが、スムーズかつ皆の態度に感心するばかりでした。

岡山理科大学に着くと、A班とB班に分かれました。

A班は、まず「恐竜学博物館」の見学。大学生が説明についてくれ、化石や恐竜の骨について丁寧に説明してくれました。説明を聞いては質問を返したり、頷いたり子どもたちも大学生の話を見事に聞く姿がありました。

B班は「標本作り」。どんぐりの葉を使って葉脈標本作りました。指導の大学生が、重曹で煮た葉

を用意してくれていて、子どもたちが、その葉を丁寧に歯ブラシでたたくていきます。力加減が難しいようでしたが、徐々に葉脈が現れ、終始無言でひたすら葉をたたくていく様子がありました。2種類のどんぐりの葉の葉脈が現れると、最後にラミネートをして標本の完成です。

午後は、B班が「恐竜学博物館」の見学。A班は「標本作り」。野花を使った標本作りでした。最初に指導の大学生から、鑑賞できるようなきれいな花や、葉になる草花など、さまざまな野花の説明がありました。その後、野花の標本作っていただきました。野花は、あらかじめドライフラワーにされたものが用意されていて、名前と花が一致するように確認をしながら、一つ一つ丁寧にケースに張り付けていきました。予定の時間がきて、完成に至らなかった子どもたちがいたのが残念でした。



## 「ピザをつくって食べよう」

9月3日(土)

参加者 児童 33名  
ボランティア 10名  
保護者ボランティア 3名

作って食べる活動は、毎回、子どもたちがとても楽しみにしていますが、再び新型コロナウイルスの蔓延により、今回は、食べることは中止となっていました。

ピザを作る班とゲームをする班の2班に分かれて活動開始です。ピザを作る班は、エプロン・三角巾を着け、手洗いをし調理研修室へ。ボランティアの亀田さんの説明を聞いてスタート。

ボランティアが朝早くから用意していた生地を綿棒で伸ばし、フォークで穴をあけて、ソースを塗ったらトッピング。用意された具材を友達と分けあう姿がありました。ウインナーを沢山お出し、ハムスターの形に仕上げる子。ここでも個性が出て、見ていると面白いです。



ゲーム班は、班対抗で「ドミノ・スライダー」をしました。各班から一人ずつ行い、蝶で滑りを良くしたドミノを、的になるドミノに当てていきます。的の置き方を変えて、徐々に難易度を上げていきますが、上手な子は何度も当てていました。ガシャンと崩れる様子に、子どもたちからも歓声が上がリ、盛り上がりを見せていました。

最初の作る班のピザができると、ゲーム班と交代です。後半チームも美味しくピザを仕上げました。ピザを焼いている間に、今度は全員で「ドミノ・スライダー」をしました。焼き上がりが待ち遠しく、「すぐ食べたい！」の声も、沢山聞かれました。焼き上がりのアツアツピザを頬張れなかったのは、残念ですが、持ち帰って家族で味わってもらえたのかな?と思います。来年は、みんなで食べられるといいなあ...



高学年は、行き帰り暑中、バス停(三野)から理大まで徒歩での参加となり、大変だったと思いますが、皆ボランティアの指示をよく守り、頑張ることができました。夏休みの思い出の1ページを飾る一日になったと思います。



### 子どもたちの感想

- 自分の知らない恐竜の化石がたくさんあった!
- いっぱい恐竜のことを知れて楽しかった。大学生の話が分かりやすかった!
- 葉脈が透けて見えてきて、楽しかったけれど楽しかった。
- クイズで楽しく教えてくれたから分かりやすかった。
- 本物の化石を持ったら重くてビックリした!

### 子どもたちの感想

- 生地を伸ばすのが難しかったけど、頑張った!
- 色々な食材をまんべんなくのせた。上手に出来た!
- ピザが辛くなりすぎないようにソースの量を調整したから美味しく出来たと思う!
- ドミノを倒すのが難しかったけれど、楽しくできた。
- ドミノをまっすぐに飛ばせて、的にも倒せたから楽しかった!

### 《お願い》

全ての持ち物に名前を書いて、忘れ物をしないよう、ご協力ください。

持ち物には  
名前を書きましょう

まいごになっちゃた...



赤磐市立山陽公民館

〒709-0827 赤磐市山陽1-10

TEL(086)955-9777

Mail:sanyo-komin@city.akaiwa.lg.jp